

TORO®

ハーフフロントドア キット  
Workman® UTX 乗用汎用作業車  
モデル番号 08117

## 取り付け要領

## 取り付け

## 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行う。
ドアフレーム	2	
ドア用ピボットブラケット	2	
左上用蝶番	1	
右上用蝶番	1	
スペーサ	2	
スタッド	4	
ロックナット5/16"	2	
ドア用ラッチブラケット	2	ドアを取り付けます。
ゴム製バンパー	4	
左ドアラッチ	1	
右ドアラッチ	1	
六角ソケットヘッドボルト1/4 x 3/4"	4	
キャリッジボルト1/4 x 3/4"	8	
ロックナット1/4"	8	
左ドアアセンブリ	1	
左下用蝶番	1	
右ドアアセンブリ	1	
右下用蝶番	1	
スペーサ	2	
ねじ5/16 x 3/4"	4	ドアを取り付けます。
ストライカボルト5/16 x 2-1/2"	2	
ドアストライカ	2	
ワッシャ5/16"	2	
エアスプリング	2	
必要なパーツはありません。	—	ドアの位置を調整します。



# マシンの準備を行う

## ⚠ 警告

ドリルを使うときに適切な保護めがねを使用しないと金属粉が目に入る恐れがある。

ドリル使用時は必ず保護めがねを着用すること。

1. 平らな場所に駐車する。
2. トランスマッisionレバーを P (駐車) 位置にシフトする。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。
4. 荷台を上げる。
5. 肩当てブラケットのねじを外す後に使用する図 1。

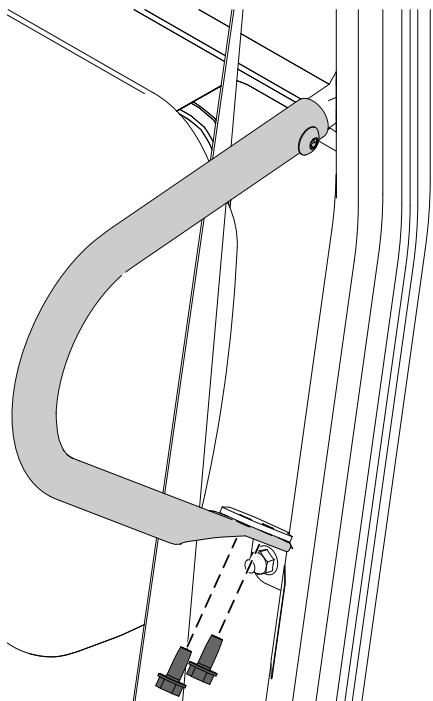


図 1

6. 運転席側と助手席側の前フレームチューブから、既存のねじ  $1/4 \times 3/4"$  を外す図 2。
7. 図 2 のように、運転席側と助手席側の両方の前フレームチューブの穴を、8.7 mm のドリルを使って、チューブの向こう側まで貫通させる。マシンのダッシュ/フレームにこの穴がある場合、次の手順にスキップしてください。

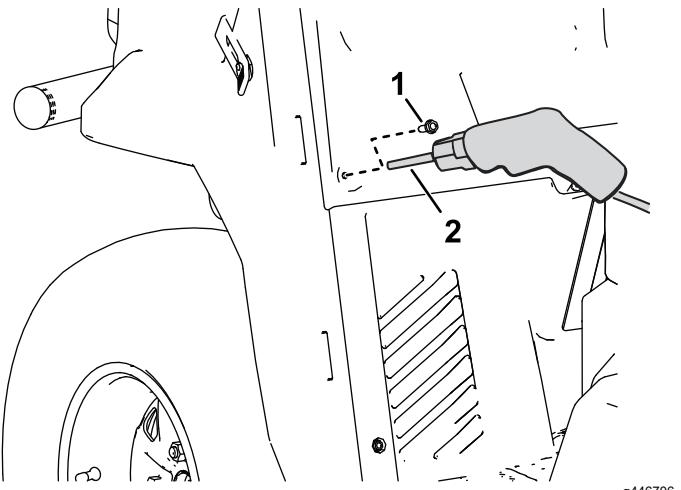


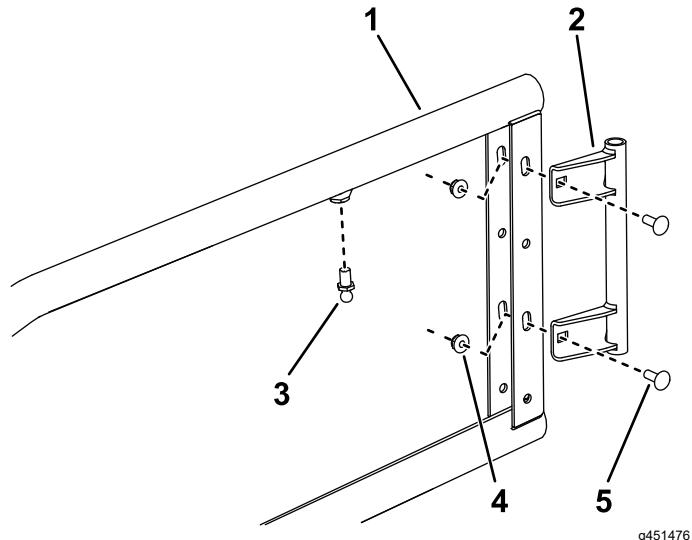
図 2

1. 既存のねじを外す。
2. 8.7 mm のドリルで貫通させる

# ドアを取り付ける

1. **図 3**のように、キャリッジボルト 2 本とロックナットを使用して、ドアピボットをドアフレームのスロットに仮止めする。

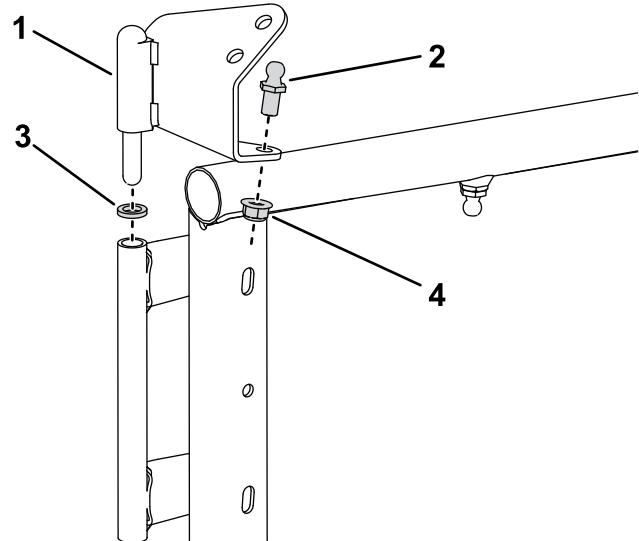
注 まだ本締めしないでください。ピボットブラケットの位置の微調整が必要になる場合があります。



- |                 |  |
|-----------------|--|
| 1. ドアフレーム       | 4. ロックナット $\frac{1}{4}$ "                      |
| 2. ドア用ピボットブラケット | 5. キャリッジボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " |
| 3. スタッド         |  |

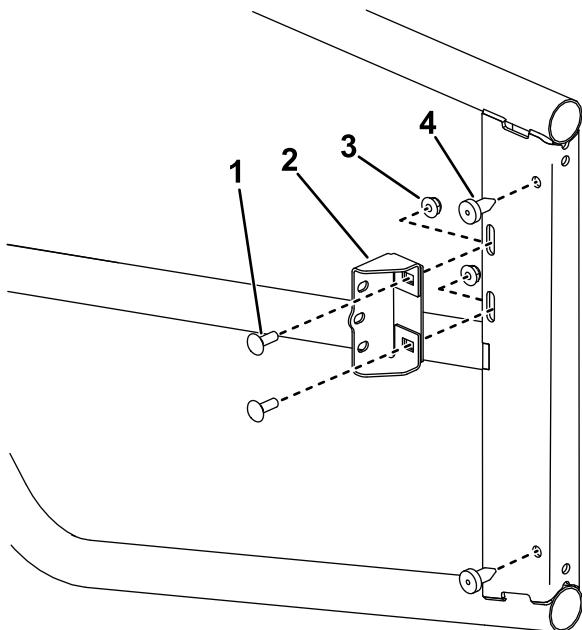
2. **図 3**のようにドアフレームにスタッドを取り付け、 $1012 \text{ N}\cdot\text{m} 1.04-1.27 \text{ kg}\cdot\text{m} = 90110 \text{ in-lb}$ にトルク締めする。
3. **図 4**のように左上蝶番にスタッドを取り付け、 $1012 \text{ N}\cdot\text{m} 1.04-1.27 \text{ kg}\cdot\text{m} = 90110 \text{ in-lb}$ にトルク締めする。

4. **図 4**のように、左上蝶番とスペーサを取り付ける。



- |          |                            |
|----------|----------------------------|
| 1. 左上用蝶番 | 3. スペーサ                    |
| 2. スタッド  | 4. ロックナット $\frac{5}{16}$ " |

5. ドアアセンブリの内側にゴム製バンパーを 2 個取り付ける**図 5**。
6. ドアアセンブリにドアラッチブラケットを取り付ける**図 5**。



- |  |                           |
|--|---------------------------|
| 1. キャリッジボルト $\frac{1}{4} \times \frac{3}{4}$ " | 3. ロックナット $\frac{1}{4}$ " |
| 2. ドア用ラッチブラケット                                 | 4. ゴム製バンパー                |

7. 図6のように、ドアラッチブラケットに左ドアラッチを取り付け六角ヘッドボルトを1012 N·m 1.04-1.27 kg·m = 90110 in-lbにトルク締めする。

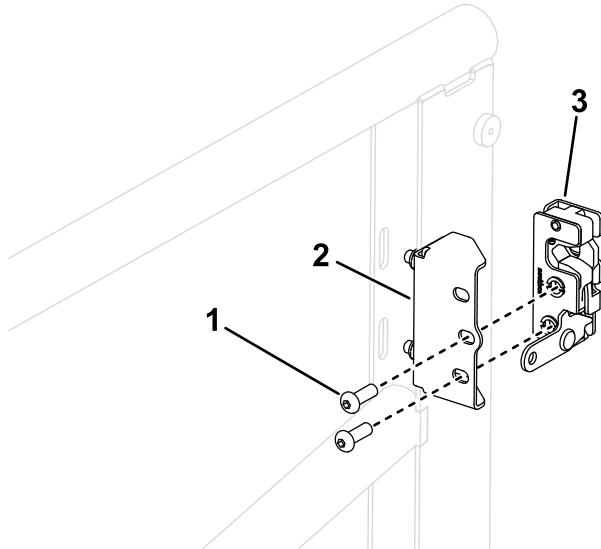


図 6

g451504

1. 六角ソケットヘッドボルト1/4 x 3/4"
2. ドア用ラッチブラケット
3. 左ドアラッチ

8. 以上の作業を、右側のドアに対しても行う。

**注** 以下では、運転席側ドアの組み立てを示します。助手席側のドアを組み立てる際は、図を左右逆転させてください。

## ドアを取り付ける

1. 図7のように、2本のねじ5/16 x 3/4"で、下側蝶番をROPSチューブのブラケットに仮止めする。

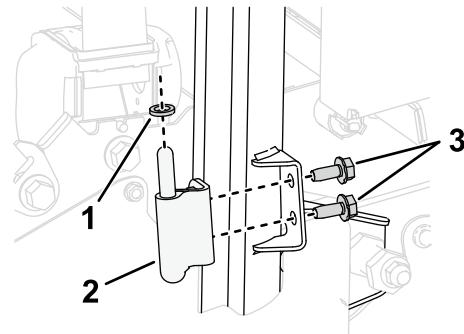


図 7

g451974

1. スペーサ
  2. 下側蝶番
  3. ねじ5/16 x 3/4"
2. ピボットブラケットの底部をドアアセンブリに取り付け、スペーサを下側蝶番に取り付ける。

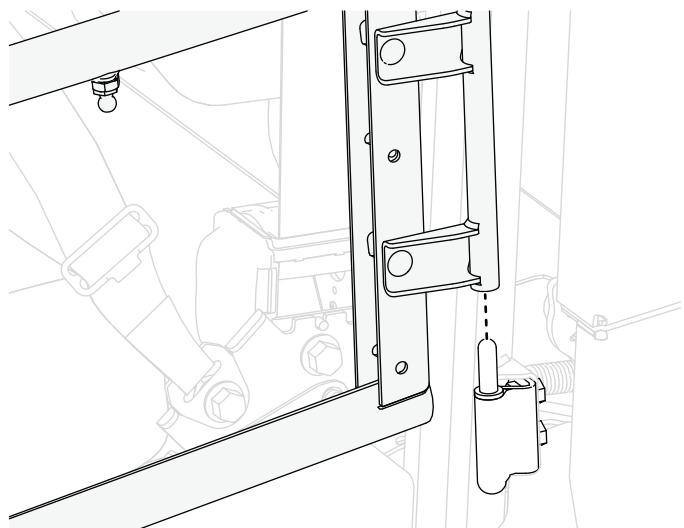


図 8

図は左ドアの取り付けを示す

g452006

3. ステップ5で取り外したねじを使用して、ドアセンブリの上側蝶番を肩当てブラケットに仮止めする図9。

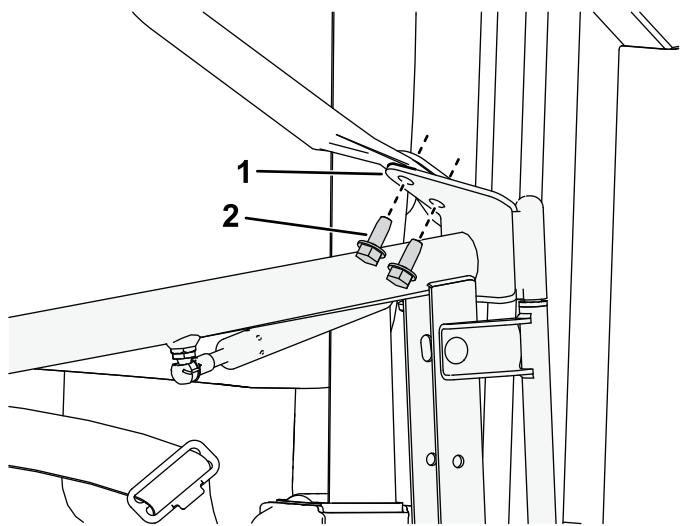


図9

1. 上側蝶番  
2. 先ほど外したねじ
4. スライカーボルト (5/16 x 1/2") のネジ山に中程度の強さのネジロックコンパウンドを塗布する。
5. フレームチューブの前部に開けた穴にスライカーボルト 5/16 x 2-1/2" を挿入する図10。

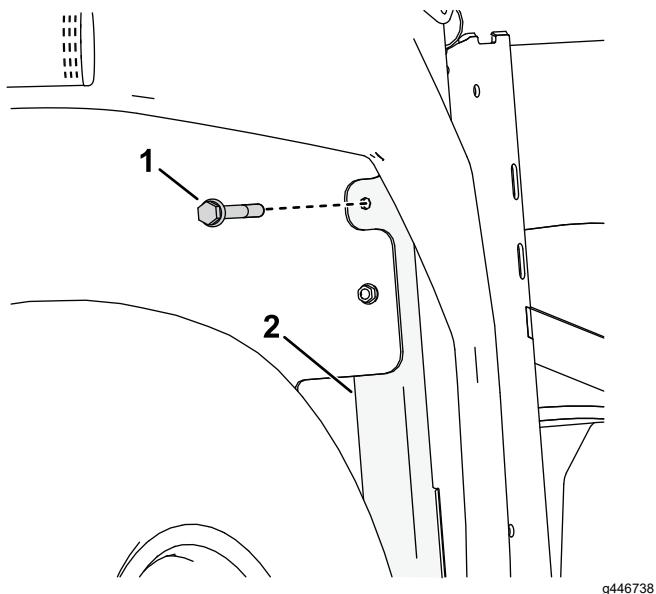


図10

1. スライカーボルト 5/16 x 2-1/2"  
2. フレームのチューブ

6. スライカーボルトにドアストライカとワッシャ 5/16" を取り付ける図11。

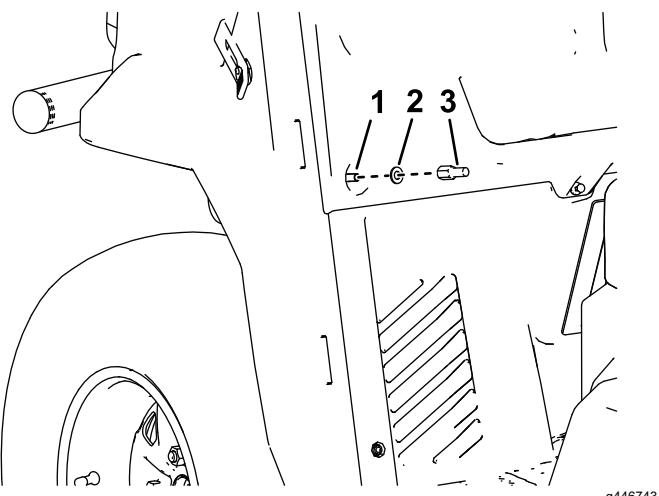


図11

1. スライカーボルト  
2. ワッシャ  
3. ドアストライカ

7. スライカーボルトを 10-12 N·m (1.04-1.22 kg·m = 90-106 in-lb) にトルク締めする。
8. 図12のように、スタッドにガススプリングを取り付ける固定側を上側蝶番に取り付けること。

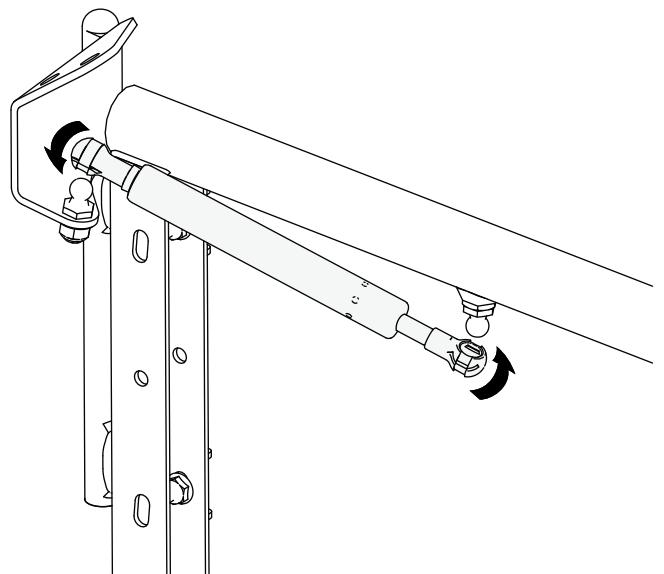


図12

9. 以上の作業を、反対側のドアに対しても行う。

# ドアの位置を調整する

1. ドアを閉めて、ストライカがラッチに固定されることを確認する。ドアがスムーズに開閉できるよう、ドアピボットと、ドアフレーム側のドアラッチブラケットの位置を調整する。

**注** 必要に応じ、ドアフレームの留め具をゆるめて調整してください。

2. ロックナットを  $10-12 \text{ N}\cdot\text{m}$   $1.04-1.22 \text{ kg}\cdot\text{m} = 90-106 \text{ in-lb}$  にトルク締めする。
3. ドアピボットブラケット固定用のロックナットを本締めする。
4. 蝶番ボルトを  $20-24 \text{ N}\cdot\text{m}$   $2.97-2.53 \text{ kg}\cdot\text{m} = 180-220 \text{ in-lb}$  にトルク締めする。
5. 以上の作業を、反対側のドアに対しても行う。
6. 荷台を降下させる。

メモ



**Count on it.**